

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人
三木 勉

印刷部数11万1300部
(購読料は組合費のなかに含まれています)
(年間購読料 千八百円)
定価 五十円



東京土建のホームページ http://www.tokyo-doken.or.jp/

新型コロナウイルスでの相談は組合へ
新型コロナウイルス感染が広がり、建設現場にも影響が出ています。仕事や暮らしで困っているのは所属の支部へ相談してください。東京土建のホームページでも、国の支援策等紹介しています。

春の拡大月間の訴え 全支部・全分会が目標達成に「団結」

本部組織部長 檜山 剛志

いのちと仕事を守ろう

仲間の実態を徹底して集約

春の拡大月間の成功に向け、また新型コロナウイルス感染予防対策のなか連日奮闘されている仲間のみなさんに心から感謝を申し上げます。

全分会が日曜行動

4月5日、府中国立支部では、春の仲間づくり月間に向けた日曜準備行動を全分会で実施。新型コロナウイルス感染で緊急事態宣言の準備が噂されるなかでの取り組みというところで、チラシ撒きやボスター、看板立てなどで終了する行動提起となりました。日吉分会では、副分会長の



立って看板を設置した日吉分会の仲間

春の拡大月間では政府から緊急事態宣言(4月7日)が出され、かつ3密を避けるなかで行動が進められています。「仲間の暮らしと仕事を支える」東京土建はどのように運動を継続していくのかが重要です。仲間は生活、仕事、賃金不安などに直面しています。だからこそ組合の存在意義、組合の力を発揮する的时候了。この間、野丁現場で従事する仲間から「朝礼時の密集

の危険を訴える声」が寄せられたことを受け、改善させた実績も積み重ねています。仲間の声を力に変えて組合は要求運動として、国や東京都、行政、大手企業に要請要望をしていきます。

【足立・書記・栗原知也記】足立支部では、春の拡大月間は新型コロナウイルスの急速なまん延を踏まえ、支部の陣式と分会の夜間訪問行動、拡大センターへの人集めを中止にせざる得ない状況となりました。拡大は組合の柱となる行動のため、ただ中止にするわけではなく、分会機関会議を拡大行動日に設定し、会議員は短時間でできない、その後、分会独自でチラシ配りや電話による声かけなど対面せずともできる行動を地道に取り組んでいます。

足立 対面なしで行動 お役立ちブックで対話

新型コロナウイルス感染が広がり、建設産業の現場でも工事ストップなどの状況が発生しています。東京土建

は4月1日の第1回中央執行委員会で建設産業従事者への支援を求める要求提言を確認しました。

建設労働者と中小零細事業所の支援及び建設産業の発展のための緊急の要求提言

東京土建一般労働組合 執行委員長 中村隆幸

私たち東京土建一般労働組合(略称:東京土建)は、1947年結成以来、建設従事者の要求を大衆的に発展させ、要求実現に全力で取り組んできました。

や最近の台風などの災害にのちの自助努力とともに国や東京都及び各自自治体による重要な位置づけを担ってきました。

「賃金」「仕事」「生活保障」を軸に仲間の仕事と賃金の改善と生活の向上を掲げてきました。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大は様々な影響を建設産業に及ぼしており、今日の危機的状況を消費意欲を活性化するため



「困ったら相談を」と足立支部書記局

医療崩壊を 実感していると 救急医学会が緊急声明を出した。先日参加した三多摩国民春闘共闘会議幹事会では、医療労働の仲間から、多摩地域の病院でも医療従事者が新型コロナウイルスに感染している、発熱外来を閉鎖せざるを得ないと報告された。身近なところで実際に医療崩壊が始まっているようだ。

国民皆保険制度のない米国の死者数は2万5000人を超えてしまった。世界一の支出をしている軍事費を削って、皆保険制度を始めとした医療体制を充実していれば、状況は大きく違っていたであろう。

国内では自衛と補償をセツトで行なえという声が多数だ。感染を広げないためには必須だったが対応は後手後手だった。これ以上の医療崩壊を招かないために、失った収入への十分な補償と、検査体制の充実等とともに医療現場への実質的な支援が急がれている。

「ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」とうたい上げた日本国憲法前文の重みをかみしめている。先進国には新型コロナウイルス感染による肺炎治療のための人工肺などの技術がある。しかし軍事費に法外な予算を注ぎ込み、パンデミックへの想像力を欠いた医療体制しか準備できず、医療崩壊に陥ったことを率直に反省すべきだろう。